

## 第9回 みやぎ小・中学生いじめ防止動画コンクール入賞作品一覧



### 【最優秀賞】

石巻市立寄磯小学校  
児童会

「みんながみんなの居場所になろう」

私たちの学校は全校児童2人のとても小さな学校です。しかし、地域の方々ともたくさん関わり合いながら楽しく学校生活を送っています。

寄磯小学校の自まは、たくさんの方々を私たちが応援してくれ、見守ってくれていることです。私たち2人だけの小さな学校ですが、「1人ぼっち」だと感じることはありません。私たちのように、年れいや立場に関係なく、おたがいにあいさつをしたり、話しかけたりすることで、「1人じゃない」と感じる事ができれば、いじめがなく、仲良く生活できると思い、この動画を作りました。

この動画で、年れいや国せき、立場に関係なく「だれでもだれかの居場所になれる」ということを考えてもらえるきっかけになるといいです。



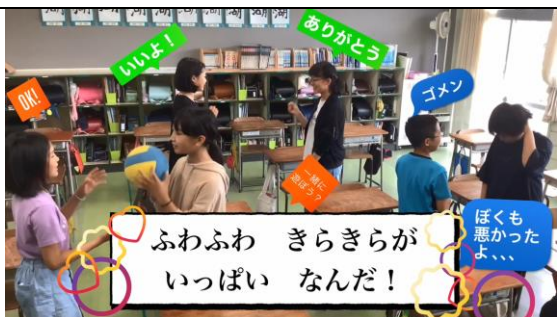
### 【優秀賞】

川崎町立富岡中学校  
第3学年

「その勇気、その言葉で」

作品を通して訴えたいことは、「ちょっとしたあいさつや言葉がいじめ防止につながる」ということです。1人であるのが好きそうな友達がいても、本当はみんなの輪にまざりたいと思っていて、周りもうまく声をかけられない。そうした状況が、もしかしたら仲間はずれなどのいじめにつながってしまうことがあるかもしれません。でも、1人だけでも勇気を出し、声がけをすることで、いじめ防止につながると思いました。

この動画をきっかけに、広く周りに目を向け、もし1人の子がいたら、空っぽで寂しい心の花瓶をあたたかい言葉などでいっぱいにしてあげてほしいです。



### 【優秀賞】

松島町立松島第二小学校  
第6学年

「届け! あったかい心」

動画をとる前に、クラスで「どんなことに気をつければ、いじめを防ぐことができるか」について話し合いました。「見て見ぬふりをしない」ことや「されて嫌なことはしない」「みんなで声をかけ合って、助け合う・はげましあう」など、いろいろな意見が出ました。

もし、いじめのきっかけになりそうなことがあっても、お互いに思いやりの気持ちや気づかい合う気持ちがあれば、いじめにまでは発展しないと思います。一人一人に、みんなのあったかい心が届くようなクラスになるように頑張りたいです。



【優良賞】

岩沼市立岩沼小学校  
児童会

「やさしさのたね」

植物は水をやり、優しく見守り、丁寧に育てることで、きれいな花を咲かせます。人も同じで、誰かに応援してもらったり、心配してもらったりすると温かな気持ちになり安心します。誰にでもあるやさしさの種を育てていけるような、そんな学校を作っていきたいです。



【優良賞】

大崎市立古川南中学校  
生徒会

「バトンパス for everyone」

私たちは「一人一人が大切にされる学校」を公約に掲げています。学級のメンバーが関わる機会を増やすことで、お互いの仲を深められると考え、それぞれの学級目標を写真で表現する「集合写真コンテスト」を企画・実行しました。仲を深めることがいじめ防止につながると考えています。その他にも、生徒会室に残る歴代の先輩方のいじめ防止への取組を全校に知ってもらい、いじめをなくしたいと考えているのは一人じゃない、みんなの願いなのだということを伝え、これからも考え続けようという呼びかけをしたいと考え、この動画を作成しました。



【優良賞】

気仙沼市立階上中学校  
生徒会

「十人十色の認め合い～いじめをなくすために大切なこと～」

この作品は、「多様性」をテーマとして作ったものです。「みんなと違うから、いじめや仲間外れといったことが行われる」というのは、絶対にあってはならないという思いを込めました。また、みんなと違う・・・等で心の中で悩んでいる人たちの、作り笑いや行動に気付いて声を掛けられる優しさを持ってほしいというメッセージを送るつもりで、最後のシーンを撮影しました。最近、ニュースやインターネットで「男女平等」「多様性の尊重」「LGBTQ+」などの言葉を見かけることが多くなっています。そんな今だからこそ、「相手の気持ちに気づき、お互いを認め合う」ことについて、皆さんに考えてもらいたいです。





【佳作】

大崎市立古川第一小学校  
いじめ防止動画制作実行委員会

「また明日」

「いっしょにやろう」などの言葉をかけられることで気持ちがかかるくなって、また明日も学校に行きたいと思う子を増やしたいという気持ちでこの題名にしました。



【佳作】

栗原市立志波姫小学校  
児童会

「素敵な言葉があふれる学校」

今年のいじめ防止動画コンクールの作品づくりが決まったあと、私たちは誹謗中傷をテーマに作品を作ることを決めました。インターネット上には人を傷つける言葉がたくさんあふれています。私たちの通う志波姫小学校では、人を傷つけるような言葉をなくすために「素敵な言葉があふれる学校」を目指して、全校児童を対象に言葉を集めています。この動画にあるように、たくさんの言葉を集めて「表現の木」に掲示しています。今回の動画にあるように、やさしい言葉があふれる学校を目指してこれからも頑張っていきたいです。



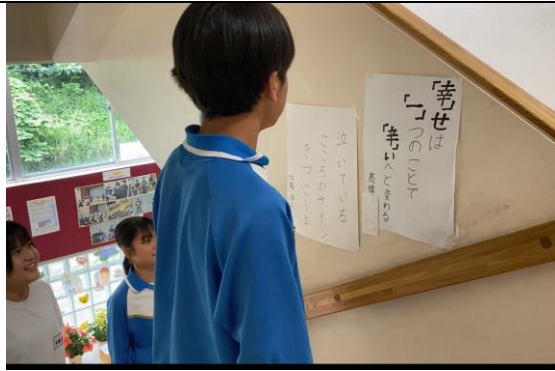
【佳作】

加美町立宮崎小学校  
第6学年

「みんなで笑顔をつくろう」

私たちがこの作品を通して伝えたいことは、「友達を思いやる心」をみんなが大切にできれば、いじめはなくせし防止できるということです。そうすれば、みんなが笑顔になれます。

自分だけでなく、みんなが笑顔になれるように、クラスみんなで話し合い、台本を作りました。この作品を通して「思いやりビーム」の大切さをみんなに伝えたいです。



【佳作】

柴田町立船迫中学校  
3年1組有志

「私たちを守る いじめ防止の法律」

私たちの船迫中学校には、生徒が考えたいじめ防止の標語が毎年校内に掲示してあります。いじめ防止を訴えるために、校内の標語を動画に取り入れました。

私たちは、学校でいじめ防止の法律があることを学びました。その法律の中の第4条には、「児童生徒はいじめを行ってはならない」と「いじめ禁止」があることを知りました。この学んだ大事なことをみなさんに伝え、さらなるいじめ防止につなげたいという思いを込めて動画を制作しました。



【佳作】

岩沼市立岩沼北中学校  
生徒会

「笑顔の花」

「笑顔の花」という題名は、笑顔になることで花（心）が咲く（開く）意味をもっています。今回制作した動画は日頃から取り組んでいる挨拶を通して、相手の心を開かせる目的として制作しました。そして、この動画は、日頃から無視されるといういじめを、主人公が挨拶運動という取り組みに参加することで、いじめをなんとかしようという勇気と行動力が描かれています。ただ見ているだけでは、何も始まらず、何もおこらない、そこで、一歩、自分が行動することで「笑顔の花」を咲かせることができます。誰かが、やってくれるという考えを持たずに自分から積極的に行動してみましょう。



【佳作】

加美町立中新田中学校  
生徒会

「違うって、いい!!」

「見た目が違う」「考え方が違う」、自分と相手が少しでも違うことで相手を受け入れず、仲間外れにしたり、悪口を言ったりすることがいじめにつながると考えました。「人と違う」ことは本当に悪いことなのかと生徒会で話し合いました。違いを受け入れることができない黒い感情が「そんなことはない」という言葉で変化していく様子を色で表しました。「見た目が違っていい」「考え方が違っていい」「一人一人違うことは悪いことではなく良いことなんだ」ということを伝えたいと思い、この作品を作りました。この作品を見て、自分の個性やカラーを大切に、相手の個性やカラーを認め合える世の中を作りたいと思う人が一人でも増えて欲しいと思います。